

2022年 1月 23日

主 日 礼 拝

①8:30am ②10:30 ③1:30pm ④7:00

司 会 ②石井 秀人兄

奏 楽
祈 禱 ②村山けい子姉

賛 美 聖歌502番 ~聖霊様あなたを求めます~
主の祈り

聖書朗読 サムエル記上30章1~6節

特別賛美 WINGS

メッセージ 「私たちの祈りに答えて下さる主」
石井 潤 牧師

献 金 聖歌496番 ~主は御座におられる~

祝 禱

お知らせ [司会者]

賛 美 ~あなたはわが力~

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします! ☆
《今週のお知らせ》

★本日も礼拝の恵みを感謝します。今週も主の守りと助けをお祈り致します!

☆今週の祈り会：○早天祈禱会：明朝6時～。◎祈禱会：木曜午前10時半～
夜7時半～（大和の祈禱会映像に参加）○準備祈禱会：土曜夜8時～。

★来週の日曜礼拝も4回の礼拝を行います。〈司：石井兄／祈：白川兄〉。

◎今後の主な予定：卒業祝福式3/20（日）、信徒懇談会3/27（日）

☆一年に一回聖書を完読できる！ Bible Reading Plan [1/23-/30]

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
旧約	創世記 48-50	出エジプト記 1-3	4-5	6-8	9-10	11-12	13-14	15-16
新約	マタイ 15:21-39	16	17	18:1-14	:15-35	19	20:1-19	:20-34
チェック	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇

「私たちの祈りに答えて下さる主」

～信仰の真価が現れるとき～

「…しかし、ダビデは主から力づけられました。ダビデは、…主に伺いを立てて言いました。『あの者たちを追うべきでしょうか。追いつけるでしょうか。』主は答えました。『追いかけてよ。奪われたもの全部を取り返すのだ。』。主は答えました。『追いかけてよ。奪われたもの全部を取り返すのだ。』」 サムエル記上30：6－8節 [LB]

サウル王に追われ続けるダビデは、いよいよ、敵国ペリシテの地に身を寄せなければならぬ状況になりました。敵国とは、異邦人の国ということになります。イスラエルの国から一歩出れば、そこは、異邦人の地となります。全知全能の神を信じない、創造主を信じない、偽りの神、自分中心の信仰によって立っている、未信者の国にとどまるということです。

それは、まさに、世の中で生きる私たちのような状況です。しかし、すでにダビデの回りには軍隊のような集団ができていましたので、ペリシテ人たちにとっても脅威だったかもしれません。そんな中でも、ダビデは敵国の代表者であるアキシ王の信頼を勝ち取りました。それはダビデが忠実であったからです。しかし、ダビデは自分がイスラエル人であることはきちんと貫いていました。主君はあくまでもサウル王。しかし、その敵国にいられるようにと苦心して、バランスを取らなければなりません。しかし、敵国にいながらも、その地の生き方をしていたわけではなく、自分の信仰を貫き通しました。

そんな時に、敵であったアマレク人たちがダビデたちの留守にその地を襲い、ダビデの妻子、部下や仲間たちの妻子たちも連れ去られてしまいました。もうすでに600人以上の軍隊ができ上っていたダビデでしたが、その多くが、その出来事に直面して、リーダーであるダビデを石で打ち殺そうという状況になるほど途方にくれてしまいました。リーダーであるダビデの心はもうどうしようもない状況、崖っぐち状態。しかしそこで、彼の信仰が力を発揮し、踏ん張ることができました。民たちの目の前で分かるような形で主に祈るため、祭司が身に着けるためのエポデを持って来させて、主に祈りました。そうすると、主は明確に答えてくださり、「まだ、間に合う。追いかけてさい！必ず奪い返すことができる！」とダビデを励ましてくださいました。窮地に陥った時にどうすればよいのか。助け主なる神を知っていたダビデは何の迷いもなく、はっきりとした確信を持って祈ることができ、問題に対処することができました。まだイスラエルの王様になっていた訳ではありませんでしたが、すでに、王としての使命を果たしていました。

私たちもこの世の中に出て行って、そこで生きています。知恵を尽くしてこの地上での歩みが続けていますが、いざとなったときには、まさに、このダビデと同じように、大胆に神に祈り、その神様が明確にお答えくださるという経験をすることができるのです。今もコロナウイルスとの闘いなど、様々なことが起っていますが、明確に主に祈ることができる私たちは、何と幸いな者ではないでしょうか。これからも事々に主に熱心に祈っていきましょう！